

開かれた学校づくり全国交流集会

やまぐち開催決定！

第1回実行委員会

日時 5月18日(日) 10時～13時
場所 山口ふるさと伝承センター
(山口市下笠小路12 裏面参照)
内容 学習「学校評価・教職員評価と開かれた学校づくり」
中田康彦さん(一橋大学大学院准教授)
協議
・実行委員会組織について
・山口でのとりくみについて
・全体会、分科会の構成について
・その他

浦野さん(東大名誉教授)を招き

準備会を開く

子どもの
最善の利益の
ために

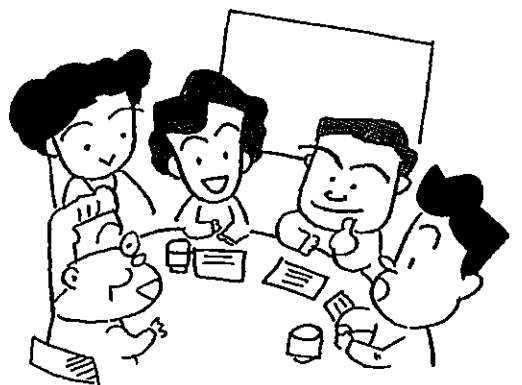
3月23日(日)に山口市で「開かれた学校づくり全国交流集会(やまぐち)」(第8回)の準備会を開催しました。

県内各地から19名の参加があり、まずはじめに帝京大教授

の浦野東洋一さん(東大名誉教授)が「開かれた学校づくり」となせいか」と題して、「開かれた学校づくり」の意義をこれまでの全国交流集会の経験をもまえながら話されました。改憲勢力の教育観と憲法・子ども権利条約の教育観を比較しながら、学校はみんなのもの、みんなでつくるものであり、「子どもの最善の利益」のためには学校を開くことが大切であるということを示されました。

学習しながらすすめるよう！

参加者からは、学校を開くことへの不安などが語られる一方、子どもの意見表明権の大切さや父母との教育懇談会などの必要性も語られました。浦野先生からは学校を開く中から同僚性が生まれるという経験も話されました。また、早くも幼児教



育の分科会もつくりたいという積極的な意見もあり、この全国交流集会への期待の大きさが伺えました。山口県では「開かれた学校づくり」が必ずしも進んでるとはいえませんが、これを機に学習しながら山口県でも「開かれた学校づくり」をすすめるよう、ということをお話しました。

これからの実行委員会では、学習と準備を並行してすすめることも確認しました。上記の通り第7回実行委員会を開催します。仲間とともに、大勢での参加をお待ちしています。

なお、全国交流集会の日程は、10月25・26日とし、会場は山口市湯田と決定しました。